道徳通信

70 信号[

令和6年2月22日(木) 足立区立中川東小学校 道徳通信 第10号 校長 豊田 純子 道徳教育推進教師 前田 康介

自分の生き方について深く考える

保護者や地域のみなさまは、これまでに自分の生き方について深く考えた経験はありますか?日常生活において、良いことが起きた時に「あの時あれをしていたからだ!」と過去の自分の言動を褒めたり、何か失敗した時に「あの時こうすれば良かったな…。」と過去の自分の言動に後悔したり…そのような経験があったのではないでしょうか。

自己の生き方について深く考えることについて、私は以下のように考えています。

- ① 自分との関わりの中で、道徳的価値を理解すること
- ② 自分の個性や特徴を知り、現在の生活や将来の生き方の課題を考えること

例えば①では…

相手の立場にたち、 相手の気持ちを想像して 声を掛けることができたぞ!

これぞ! 「思いやり」だ!

例えば②では…

自信をもってやってみよう!

これきでのぼくは、 自信のないことに対して すぐに諦めてしまっていたな。 努力もしなかった。

このままでいいのか!? 自問自答

また、自己の生き方について、I人でじっくりと考えることも大切ですが、周りの人から新たな気付きや学びを得ながら考えを深めることも大切です。

道徳学習は、読み物の登場人物の気持ちを考えることで終わってはいけません。登場人物に自分を合わせて考えたり、登場人物の言動から「自分はどうかな。」と自分のこととして考えたりすることが重要なのです。

◇5 年生の道徳の時間◇



<令和6年1月 城地学級>

教材名: 『アップするの?』

主題名: 責任ある行動(授業のテーマを「主題名」と表します)

このお話の主人公「わたし」は、友達と写した写真を SNS にアップロードしようとしますが、一人の友達から嫌がられます。そして、「よく撮れているのにな」と不満に思いました。後日、別の友達から中学生の先輩と一緒に撮った自分の写真について声をかけられ、写真を見られていることを知ります。さらに、誰かに送っていないかと不安になり、先輩に削除を願い出たというお話です。

授業では、アップするのを嫌がっていた友達と、アップしたいわたしの気持ちをそれぞれ想像しました。「見られたくない」、「見てもらいたい、いいねがほしい」という両者の立場から考えました。

さらに、自分の写真について知った「わたし」の不安や心配な気持ち、焦りを 想像しました。そして、相手に嫌な思いをさせないことや勝手にアップロードし ないことなど、大事なことを出し合い、責任ある行動について考えることができ ました。

子供たちにとって身近な SNS ですが、これまでに学校で行った情報モラルの学習と、改めて行った道徳の学習を活かしていってほしいです。